

乳癌に対する特異的抗原構造の同定

1. 研究の対象

2021 年 11 月～2026 年 4 月に当院で乳がんの腫瘍摘出手術を受けられる成人の方

2. 研究目的・方法

近年、CAR-T 細胞療法が血液がんに対する新たな治療法として承認され、驚異的な有効性を示しており、乳癌に対しても CAR-T 細胞の開発が望まれています。そのためには非常に特異性の高い乳癌特異的抗原が必要です。数千から数万クローンの乳がん細胞に対するモノクローナル抗体を作製し、その中から実際の患者乳がん細胞に結合する抗体を同定し、乳癌に対する新規 CAR-T 細胞の開発につなげることを目指します。

大阪大学医学部医学系研究科にて、摘出された余剰検体から細胞浮遊液を作製し、作製した新規抗体を用いて患者由来検体を染色し、各抗体の結合をフローサイトメトリーにて解析します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

乳がん手術後の切除標本（生組織）の乳がんと正常乳腺の残余組織
臨床病理学的因子（年齢、ホルモン受容体の有無、HER2 発現度）等

4. 外部への試料・情報の提供

試料は、大阪大学医学部医学系研究科へ郵送されます。共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪大学医学部医学系研究科 血液・腫瘍内科学講座 保仙直毅
大阪大学医学部医学系研究科 乳腺・内分泌外科学講座 島津研三 前川まりこ
大阪国際がんセンター 乳腺・内分泌外科 中山貴寛
大阪警察病院 乳腺外科 吉留克英
八尾市立病院 乳腺外科 森本卓

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者：

大阪国際がんセンター 乳腺・内分泌外科 中山貴寛

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究分担者：

大阪大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科 前川まりこ

住所：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

電話：06-6879-3772

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科 保仙直毅（教授）

-----以上